



市民の皆様へ

千葉市議会第71代議長に就任しました佐々木久昭でございます。前議長が恐喝未遂容疑で逮捕されるという不祥事を起こし、市議会に対する不信を招き、また、信頼を著しく失墜させたことに對し、市議会を代表し、市民の皆様深くお詫び申し上げます。

市議会としては、この事件を一議員の不祥事にとどめることなく真摯に受け止め、政治倫理条例の制定や議長選出方法の見直しなどに取り組むことを本定例会初日に決議し、その議論の場として、議長・副議長等会議を設置し鋭意協議しております。今後とも引き続き、市民の皆様の信頼回復に努めますとともに、議会改革や議会の活性化に積極的に取り組んでまいります。

また、本市議会は、市民の皆様が本市に夢と誇りを持ち、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでおりますが、今後さらに、95万市民の皆様と共に英知を活かし、真に「住んで良かった。住み続けたい。」と実感できる、より魅力ある充実した都市、郷土づくりに邁進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

千葉市議会議長
佐々木久昭

第3回 定例会のあらまし

平成21年第3回定例会が、9月7日から10月5日までの29日間の日程で開かれました。

この定例会では、小柳輝信議長の議員辞職を許可し、これに伴い、議長選挙を行いました。

また、市長提出議案47件、議員提出議案2件(決議1件)を審議し、条例・補正予算などの議案に対する討論(賛成=市民ネット、民主党、反対=共産党)と決算議案に対する討論(賛成=公明党、自民党、新政ちば、反対=市民ネット、民主党、共産党)が行われ、平成20年度千葉市一般会計歳入歳出決算など8件については、賛成多数により、千葉市入札制度検証委員会設置条例など38件については、全会一致により、原案どおり可決・同意・認定し、第2回定例会で継続審査となっていた特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正については修正可決しました。

一方、千葉市精神障害者に係る千葉都市モノレールの運賃の助成に関する条例の制定については、賛成少数により、否決しました。

可決した主な議案

一般会計予算に54億200万円を追加 補正予算の主なものは次のとおりです。

- ・ 離職者への住宅手当の支給
- ・ 新型インフルエンザ対策の強化
- ・ 小学校の耐震補強
- ・ 橋りょうの耐震補強・補修
- ・ JR千葉駅西口自由通路の整備
- ・ 生活保護申請世帯への生活資金の貸し付け

入札制度検証委員会を設置

入札制度の運用状況を調査し、改善を検討するため、委員会を設置しました。

職員退職手当の制度を改正

在職期間中に懲戒免職処分を受けるべき行為があったと認められた場合に、支払い前の退職手当の支給を制限したり、支払い後の返納を命じたりすることができるようになります。

出産育児一時金を暫定的に引き上げ

平成23年3月31日までの出産支給額 35万円→39万円

産科医療補償制度に加入する医療機関などで出産した場合
38万円→42万円

いきいきセンターを新設します

土気市民センターの空きスペースを活用し、土気いきいきセンターを設置します。

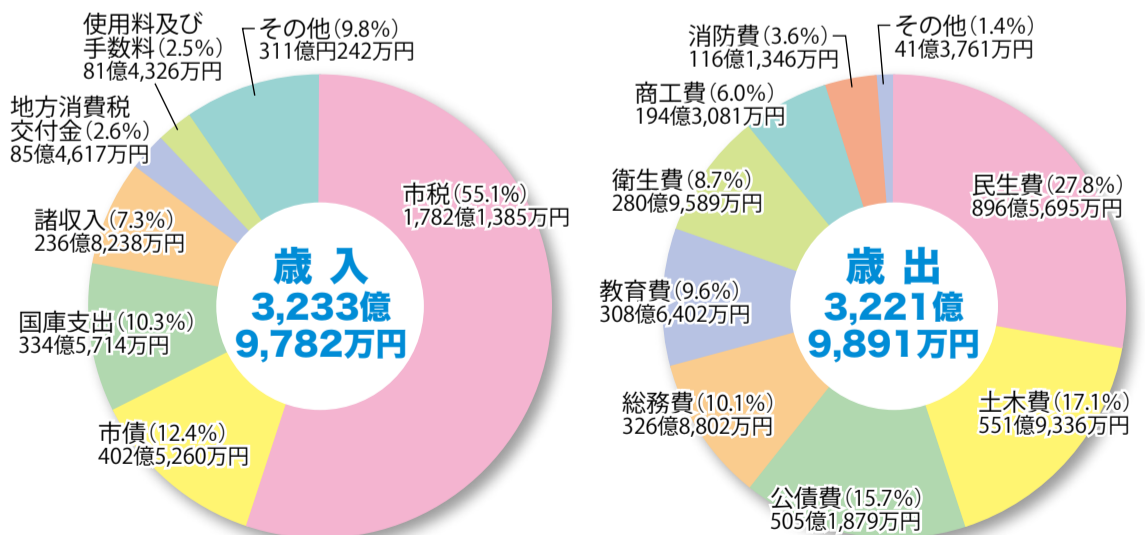
平成20年度歳入歳出決算を認定

一般会計決算の概要

平成20年度決算は、歳入面では、市税収入が前年度をわずかに上回り、4年連続の増収となる一方、市債や国庫支出金が大幅な減収となりました。

また、歳出面では、公債費が増加したものの、投資的経費が大幅に減少したことなどにより、歳入歳出の決算総額は、前年度に比較して大幅な減少となりました。

なお、実質収支額は、市債管理基金への20億円の償還を取りやめたことにより、3億7,000万円を確保したものであり、引き続き、大変厳しい財政状況となりました。



財政の健全化判断比率

平成20年度決算における健全化判断比率は、^{※1}早期健全化基準を下回っています。しかしながら、^{※2}実質公債費比率と^{※3}将来負担比率は、比較的高い水準にあります。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成20年度	—	—	20.1	309.6
平成19年度	—	—	19.6	311.6
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	400.0

(注) 実質赤字比率及び連結実質赤字比率が黒字のため、「—」を記載。

※1 早期健全化基準：この基準を超えると、「早期健全化団体」となり、自主的な取り組みにより財政の健全化を図ることとなる。
 ※2 実質公債費比率：標準財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合の過去3か年間の平均値。数値が高いほど、財政の弾力性が低下することを示す。
 ※3 将来負担比率：標準財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額などの割合。数値が高いほど、将来財政を圧迫する可能性が高いことを示す。

代表質疑

9月15日(自由民主党千葉市議会議員団・公明党千葉市議会議員団)、16日(民主党千葉市議会議員団・市民ネットワーク・日本共産党千葉市議会議員団)、17日(新政ちば)の3日間にわたり、6会派の代表が平成20年度決算議案について質疑を行いました。

自由民主党 千葉市議会議員団

衆議院議員選挙の結果について

問 民主党政権になっての日本の社会・経済の変化や地方への影響はどうか、先行きが非常に懸念されているところであり、その動向を注視していかねばならないと考えている。

答 現状の政治や社会システムに対する不満、それを「変えたい」という国民の期待が、今回の結果につながったものと考えている。

問 政権交代をすることでどうなるかを国民が実感していく中で、次以降の選挙では、本当の意味で、政策で政権を争う選挙になっていくものと受け止めている。

答 今後、新型インフルエンザ感染の拡大に伴い受診患者

問 今後、新型インフルエンザ感染の拡大に伴い受診患者

答 今後、新型インフルエンザ感染の拡大に伴い受診患者

公明党 千葉市議会議員団

問 基本計画の見直し作業がスタートしている一方、第2次5か年計画は来年度が最終年度であるが、残っている事業の取り扱いは。

答 大変厳しい財政状況と社会情勢に対応するため実施計画の計画期間を3年間に短縮すべきと考えるが、基本計画、実施計画の期間をどのように設定するのか。

問 大変厳しい財政状況と社会情勢に対応するため実施計画の計画期間を3年間に短縮すべきと考えるが、基本計画、実施計画の期間をどのように設定するのか。

答 大変厳しい財政状況と社会情勢に対応するため実施計画の計画期間を3年間に短縮すべきと考えるが、基本計画、実施計画の期間をどのように設定するのか。

民主党 千葉市議会議員団

問 市の財政状況がここまでひどく迫ってきた以上、市長は「財政非常事態宣言」を発し、市内、議会の共通認識の下、市民の理解と協力を得て財政健全化に向けた取り組みを行うべきではないか。

答 これまでどおりの財源対策を続けると、早期健全化団体に転落する可能性があるなど、本市の財政は危機的な状況にあると認識している。

問 このような状況に正面から向き合い、市民に正しい情報を伝え理解を求めることも、市内に緊張感をもたせる必要性を感じている。ただ単に、市民に不安を煽るだけでなく、財政危機を乗り越えるための取り組みや、今頑張らなければならないという姿を、議会や市民に示せる段階で判断したいと考えている。

問 増加や重症患者も増えることが予測される。最悪のシナリオを想定した上での万全の準備、市民への正しい情報提供などが重要であるが、医療体制の整備について伺う。

答 患者の集中が予測される休日の夜間の救急初期診療では、休日救急診療所や海浜病院内の夜救急診療所において、医師など医療従事者の増員や診療スペースの拡充など、体制の強化を図っていく。また、入院を必要とする重症患者については、両市立病院をはじめ、集中治療室や人工呼吸器などを備え、受け入れが可能な医療機関の協力のもと、体制の整備を進めている。

問 全国各地でゲリラ豪雨と呼ばれる局地的集中豪雨が相次ぎ発生している。本市でも記録的な集中豪雨に見舞われ、床上や床下の浸水被害と道路冠水による交通遮断が多数発生するなど、市民生活に深刻な影響を及ぼしている。

答 ゲリラ豪雨対策については、全国各地でゲリラ豪雨と呼ばれる局地的集中豪雨が相次ぎ発生している。本市でも記録的な集中豪雨に見舞われ、床上や床下の浸水被害と道路冠水による交通遮断が多数発生するなど、市民生活に深刻な影響を及ぼしている。

問 ゲリラ豪雨対策については、全国各地でゲリラ豪雨と呼ばれる局地的集中豪雨が相次ぎ発生している。本市でも記録的な集中豪雨に見舞われ、床上や床下の浸水被害と道路冠水による交通遮断が多数発生するなど、市民生活に深刻な影響を及ぼしている。

区役所機能の拡充

問 住民に最も身近な行政機関である区役所の機能拡充、区内分権の推進が、行政改革の大きなテーマの一つとなっているが、これまでの取り組みと今後の基本的な方向性について伺う。

答 区役所への土木関係嘱託員の配置や保健福祉センターを設置し、精神保健などの対人保健サービスを実施できるような機能強化に努めてきた。

問 区役所への土木関係嘱託員の配置や保健福祉センターを設置し、精神保健などの対人保健サービスを実施できるような機能強化に努めてきた。

問 子ども施策を積極的に推進するため、施策を総合的に推進する局を設置すべきと考えるが、設置に向けた取り組みは。

答 子ども施策を積極的に推進するため、施策を総合的に推進する局を設置すべきと考えるが、設置に向けた取り組みは。

自転車事故の防止に向けた取り組み

問 子供たちに、一番日常的で身近な規範である交通ルールの遵守を教えることは、社会意識、法規範意識を醸成する、有効かつ重要な実践的教育課題と考えられる。

答 小学校で体験指導型の自転車交通安全教育を実施するとともに、昨年度から自転車通学

問 小学校で体験指導型の自転車交通安全教育を実施するとともに、昨年度から自転車通学



中学生への自転車安全教室

問 このような集中豪雨は、いつ発生するのかわかりにくく、下水道の排水能力をはるかに超えるため、公的施設の整備だけでは対応に限界がある。

答 人命や生活に深刻な影響を与える浸水被害を軽減するため、浸水被害が発生した地域を対象に、対策施設や住民の自助を促進する防水板設置の助成制度などの検討を進めていく。



集中豪雨による浸水被害の様子(若葉区)

問 子ども家庭部の業務に、教育委員会が所管する青少年の健全育成と、市民局が所管するDV防止対策の業務を一体化させた組織を、次世代育成支援行動計画・後期計画に合わせ、設置したいと考えている。

答 子ども家庭部の業務に、教育委員会が所管する青少年の健全育成と、市民局が所管するDV防止対策の業務を一体化させた組織を、次世代育成支援行動計画・後期計画に合わせ、設置したいと考えている。



問 待機児童解消のための保育所、保育園の新増設の見通しはどうか。

答 待機児童解消のための保育所、保育園の新増設の見通しはどうか。

問 待機児童解消のための保育所、保育園の新増設の見通しはどうか。

答 待機児童解消のための保育所、保育園の新増設の見通しはどうか。

市民ネットワーク

問 本市が平和市長会議に加盟したことは、時代の要請にもかかわらず、高く評価する。

答 8月に長崎市で開催された平和市長会議では、来年ニューヨークで開催される核不拡散条約再検討会議で「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を採択させるための取り組みが議論されたが、市として取り組みむことはあるのか。

問 8月に長崎市で開催された平和市長会議では、来年ニューヨークで開催される核不拡散条約再検討会議で「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を採択させるための取り組みが議論されたが、市として取り組みむことはあるのか。

答 多くの市民が訴求力が増すとして自治体への加盟要請活動を強化しており、本市が首都圏の政令市で初めて加盟したことは、この活動趣旨に沿った取り組みである。

問 小柳前議長が恐喝未遂容疑で逮捕された事件は、鶴岡前市長の逮捕、起訴に続くが、市政と議会のトップによる続く不祥事として市民に衝撃を与えた。市議会議員がらみの公共工事に係る談合疑惑と、前市長の公共工事を巡る贈収賄事件を合わせて、真相の究明と再発防止対策の強化を求めるかどうか。

答 前市長の事件の真相究明に、市議会議員がらみの公共工事に係る談合疑惑と、前市長の公共工事を巡る贈収賄事件を合わせて、真相の究明と再発防止対策の強化を求めるかどうか。

問 前市長の事件の真相究明に、市議会議員がらみの公共工事に係る談合疑惑と、前市長の公共工事を巡る贈収賄事件を合わせて、真相の究明と再発防止対策の強化を求めるかどうか。

問 家具転倒防止金具の普及を、静岡市で発生した地震で、怪我をした半分は家具の直

答 家具転倒防止金具の普及を、静岡市で発生した地震で、怪我をした半分は家具の直

問 家具転倒防止金具の普及を、静岡市で発生した地震で、怪我をした半分は家具の直

答 家具転倒防止金具の普及を、静岡市で発生した地震で、怪我をした半分は家具の直

問 家具転倒防止金具の普及を、静岡市で発生した地震で、怪我をした半分は家具の直

答 家具転倒防止金具の普及を、静岡市で発生した地震で、怪我をした半分は家具の直

子どもの参画について

問 良い環境を実現するため、市長は、子どもの参画に全力的に取り組む意思を示した。子どもの参画は、子ども、社会にとってどういう意味があるか。

答 参画を見学憲章などとの関係でどのように捉えるのか。

問 参画を見学憲章などとの関係でどのように捉えるのか。

答 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。

問 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。

問 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。

問 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。

問 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。

問 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。

問 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。

問 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。

問 子どもたちが自分たちの未来は自分たちが決めるという気構えと責任を持ち、子どもの自立につながって欲しいと考えている。



市長と子どもたちの討論の様子

問 ムクドリが、新たな都市問題となっている。市内でも、公園、駅前広場などに大群が集中し、追い出し作戦などの対策を行っている。しかし、現状では追い出しても戻ってくるなど、抜本的な対策にはなっていない。

答 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。

問 昨年、千葉銀座商店街専用道路の街路樹、新検見川公園などで追い出しを実施した。相手が生物の生き物であり、対策に苦慮しているが、被害が発生している以上、なんらかの対応が必要であることから、警戒音などによる追い出しで対応していく。



モノレール県庁駅前付近

一般質問

9月28日から10月2日まで20人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。内容は市議会ホームページの議会中継(録画放映)をご覧ください。

- 両市立病院について
- 収益事業の展開と税源の涵養について
- 羽田空港問題について
- 介護保険について
- 業務継続のための危機管理について
- 地震対策について
- ごみ収集の見直しについて
- 市営霊園について
- DV被害者と保護を必要とする児童への対策について
- 行政改革の推進について
- 婚活の街千葉市について
- 幼児3人乗り自転車への助成と貸付制度の創設について
- 老朽化した学校校舎について
- 区役所と土木事務所、環境事業所、公園管理事務所との役割の見直しについて
- 福祉の総合相談窓口の設置について
- 千葉市が所有している都市計画道路予定地の有効活用について
- エレベーターの保守点検と契約内容について
- 中央区富士見町における夜間の客引き防止策について
- 高齢者福祉について
- 多重債務問題について

委員会審査・調査から

常任委員会

9月11日に開かれ、市長提出議案23件、議員提出議案1件、請願7件、陳情4件を審査しました。

その結果、すべての市長提出議案は可決となり、議員提出議案は否決となりました。

総務委員会（議案9件、陳情2件）

入札制度検証委員会の調査対象について

問 調査対象を工事入札に限っているが、県の不正経理問題もあり、物品入札なども含めてはどうか。また、個別事案の検証も必要ではないか。

答 物品については、財政局で調査をする予定である。また、個別事案の検証ではなく、入札制度に欠陥があれば是正し、日本でも有数の制度にしていきたいと考えている。

<その他の審査内容>

経済危機対策事業の選択基準、路上喫煙等防止啓発事業の効果、市長・副市長の給与などの削減について

保健下水委員会（議案9件、請願5件、陳情2件）

離職者への住宅手当の支給について

問 国の緊急特別措置事業により、住宅を喪失した離職者などに対し、一定の要件を満たす場合に、6か月を限度に住宅手当を支給することのだが、来年度以降はどうなるのか。

答 国からは、「景気回復に向けた施策を今後約3年間を目途に実施する考えであり、他の施策との連携を考慮して来年度の予算要求を検討していく」との説明を受けている。

<その他の審査内容>

自殺対策緊急強化の実施、新型インフルエンザ対策、一人暮らし高齢者などの見守り支援

環境建設委員会（議案3件、請願1件）

交付金を活用した騒音測定について

問 羽田空港の再拡張による飛行ルートの変更に対し、騒音の測定体制を強化するが、測定したデータをどのように活用するか。

答 データを今まで以上に十分に集積し、想定を超えるような騒音状況になった場合、県と市町村との協議会を通じ、国に対して申し入れを行う。

<その他の審査内容>

電線共同溝の工事進捗状況、行き止まり道路解消への指導、市内の土壤汚染の発生状況

経済教育委員会（議案1件、請願1件、所管事務調査1件）

小学校の耐震補強について

問 本市の学校建物の耐震化率は、平成20年度では全国平均や他の政令市と比較して下回っているが、この状況をどう考えているか。

答 耐震化については早急な補強工事が必要と考えている。平成20年3月に策定した千葉市耐震改修促進計画に基づき、平成27年度までに耐震化を終了させる計画である。

<その他の審査内容>

商店街の街路灯へのエコ型電球導入、小学校の校内LAN整備、電子黒板を活用したモデル事業

都市消防委員会（議案6件）

JR千葉駅西口自由通路整備工事について

問 西口自由通路整備工事における既設階段の撤去と自由通路の脇への作業構台の設置には、緊急性があるのか。

答 JRとの協議の結果、鉄道などへの安全性を確保し、効率的に作業を行い、今年度中に工事を終わらせるためには必要である。

<その他の審査内容>

地区計画から外れた地区があることの経緯、指定管理者の積極的な情報の公開、自衛消防組織の組織率

請願・陳情の結果

採択送付

保健下水委員会

- 千城台南調整池（坂月第2調整池）周辺の親水公園化に関する請願
- こども医療費無料制度にかかる入院医療費の助成拡充についての請願

経済教育委員会

- 加曽利貝塚の世界遺産への登録に関する請願

不採択

保健下水委員会

- 千葉市社会福祉協議会の居宅介護事業の廃止に係る利用者とヘルパー等の他事業所への移行の中止を求める請願
- こども医療費無料制度にかかる窓口自己負担金完全無料化についての請願
- こども医療費無料制度にかかる通院医療費の助成拡充についての請願
- 放課後児童健全育成事業推進協議会の設置に関する陳情
- 瑞穂子どもルームの瑞穂小学校敷地内等への移設に関する陳情

環境建設委員会

- ゴミ回収の改定は市民の意向を十分聞いて行うことを求める請願

決算審査特別委員会

委員長 松戸敏雄 副委員長 片田幸一

平成20年度一般会計および特別会計決算議案を審査するため、9月17日に全議員で構成する決算審査特別委員会（2分科会）を設置し、計5日間にわたり審査しました。

10月2日の決算審査特別委員会では、2分科会の審査概要について報告が行われた後、6人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり認定しました。

市長に要望した指摘要望事項

- 1 財政については**、実質公債費比率などの財政指標が示すとおり、極めて厳しい状況にあることから、さらなる財源の確保に最大限努めるとともに、市債発行や債務負担行為の抑制により、財政の健全化に努められたい。
- 2 雇用対策については**、厳しい社会経済情勢のもと、企業による派遣切りなどの問題が顕在化していることから、関係機関との連携強化や企業への働きかけによる雇用創出に取り組むとともに、求職者に対し、各種支援事業を積極的に周知するなど、一層の雇用促進に向けた対策を講じられたい。
- 3 高齢者福祉については**、今後、高齢化の急速な進展が見込まれることから、介護予防の取り組みを一層進めるとともに、高齢者施設の不足や、介護従事者の確保などの喫緊の課題に対し、現状を的確に把握の上、具体的な対策を講じられたい。
- 4 市内産業の振興に当たっては**、中小企業及び新事業創出に対する現行の支援事業を検証し、ビジネス支援センター及び産業振興財団のさらなる活用や、中小企業資金融資制度の利便性向上を図るなど、より効果的な支援の実施に努められたい。
- 5 公園の整備に当たっては**、市民に身近な公園の整備に必要な予算の確保に努めるとともに、老朽化した遊具による事故が発生することのないよう、さらなる安全確保のための方策を講じられたい。
- 6 学校の安全対策については**、地域との連携強化と電子媒体の有効活用により、学校セーフティウォッチ事業の一層の充実を図る一方、学校建築物の耐震補強を計画的に推進し、安全・安心な教育環境の構築に取り組まれたい。

可決した決議

議員提出議案として「**議会と市政の信頼回復に関する決議**」を審議し、可決しました。ホームページに全文を掲載しています。

新たに2名の議員決まる

平成21年10月25日執行の千葉市議会議員稲毛区選挙区補欠選挙（欠員2）で、田沼隆志議員、小田求議員が初当選しました。

「ちば市議会だより」発行委員会
お問い合わせ先 議会事務局調査課
043(245)5472
よりよい紙面作りのため、ご意見・ご要望をお寄せください。

お知らせコーナー

傍聴のご案内

本会議、常任委員会、特別委員会は原則公開していますので、どなたでも傍聴できます。

第3回定例会では508人の方々が傍聴に訪れました。

次の第4回定例会は11月27日(金)に開会する予定です。

受付は、原則として会議開催の30分前から議会棟1階の傍聴受付カウンターで行います。定員は本会議92名(先着順)、委員会各6名(受付開始時点で定員を超えている場合は抽選)です。

詳しくは、議事課(043-245-5468)まで。

千葉市議会ホームページのお知らせ

本市議会のホームページでは、会議日程や会議結果、議員名簿、市議会のしくみなどを掲載しています。

また、本会議や予算・決算審査特別委員会の様子が生中継や録画放映によりご覧になれます。

お仕事などで市議会を傍聴できない方はこちらをご覧ください。

ホームページアドレス
<http://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html>

